

令和5年度

岩手理容美容専門学校

自己評価表

一般財団法人 岩手理容美容専門学校
岩手理容美容専門学校

1.学校の教育理念、教育目標

「本校は理容師美容師法及び学校教育法に基づき、理容美容の専門技術ならびに諸学科を教授し、あわせて徳性を涵養し優良な理容師美容師の養成を目的とする。」という理念に基づき、具体的に

1. 全力を注いで学習し、人格を陶冶する。
2. 自ら創意工夫できる力を養う
3. 優れた技術は実践だけでは得られないということを認識し、体系的知識を身に付ける
4. 健康増進に努め、環境衛生を実践する
5. 服装、態度、言葉づかいは社会の成員として特に留意すべき事柄であり、内面と外面を兼ね備えた職業人を目指す
という、5項目を目標とする。

2.本年度の目標、計画

本校は、理容美容の専門的な知識・技術を習得させ、職業意識の高い人材を養成することで理容美容業界の人材需要に応じており、職業を通じて一人ひとりの夢や希望の実現を支援し、社会の公衆衛生を守る人材を育成する教育機関として大きな役割を果たしております。

理容美容職業教育の要となる本校は、十分に理容美容業界の要望を聞き、注意して、的確なる人材の養成に心がけ、理容美容業界から信頼される学校である必要があります。

現在、少子化の影響、大学全入問題、学費負担重もあり、多くの専門学校の経営は危機的な状況に直面しております。本校の立地条件を勘案し、安定した学校運営が出来るようにするためには、地域性に密着した具体的な職業教育体系を構築することが重要です。また、高齢化県と予測されている状況を考慮すれば、県外からの入学生推進も重要課題です。今後は、県外生受け入れも視野に入れながら理容美容業界との連携を図ることと、卒業生からも支援されるための行動が必要になってきます。

次年度も引き続き、以下の諸事業を積極的に推し進めて行くことが必須になります。

1. 教員の教育力向上、学校管理者の指導力向上、社会的変化を認識し教育に資するための研修を実施し、教職員の能力向上を図る。
2. 社会に広く本校を知らしめるために、効果的な広報活動を展開する。
3. 理容美容の仕事の有意性を多くの高校生や中学生に理解してもらうための職業教育活動を展開する。
4. 在校生の学校満足度を上げるための教育内容の見直しを図る。
5. 設備備品の充足を図ると共に、校内外の清掃を徹底する。
6. 自己評価、学校関係者評価を公表し、本校の社会的責任の共通理解を図る。
7. 学生の学費負担軽減措置を模索する。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念、教育目標

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 (3) 2 1
2	学校における職業教育の特色は何か	(4) 3 2 1
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	(4) 3 2 1
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 (3) 2 1
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 (3) 2 1

① 特記事項

5において、業界のニーズを的確につかむため、各業界との連携体制を確保して、教科課程編成委員会を設置し、教科課程の編成を行いたい。

(2) 学校運営

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	(4) 3 2 1
2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有 効に機能しているか	4 (3) 2 1
3	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 (3) 2 1
4	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 (3) 2 1
5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 (3) 2 1
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 (3) 2 1
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 (2) 1

① 特記事項

なし

(3) 教育活動

評 価 項 目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 (3) 2 1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 (3) 2 1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 (3) 2 1
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4) 3 2 1
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4 (3) 2 1
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 (3) 2 1
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

8において、外部講師からの成績評価は取り入れているが、総合的な評価は取り入れていない。

14において、東北地区理容師美容師養成施設教職員研修協議会研修会、全国専門学校各種学校協会研修会など外部団体の研修に参加しているが、本校独自の研修が不足している。

② 今後の改善方策

上記課題において、理容美容分野に関して、実務に関する知識・技術・技能などについて知見のある企業と連携体制を確保して、以下の項目を実施したい。

・実習、実技、実験又は演習の授業

- ・実務に関する知識・技術・技能を修得・向上するための研修
- ・授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修

③ 特記事項

理容業・美容業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、理容・美容分野における実務に関する知識、技術及び技能について、企業と連携して組織的に教育を実施したい。

(4) 学修成果

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
2	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
3	退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

① 特記事項

なし

(5) 学生支援

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1

7	保護者と適切に連携しているか	4 (3) 2 1
8	卒業生への支援体制はあるか	(4) 3 2 1
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 (3) 2 1
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

5において、課外の練習はサポートしているが、課外授業等は設置していない。

② 今後の改善方策

5において、課外授業を設置する。

③ 特記事項

同窓会を組織し、卒業生の状況を把握する活動を開始。

(6)教育環境

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 (2) 1
3	防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

③ 特記事項

なし

(7)学生の受入れ募集

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4 (3) 2 1
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	(4) 3 2 1
3	学納金は妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1

① 課題

1において、学生募集活動は積極的にを行っているが、定員を満たしていない。

② 今後の改善方策

1において、各課程定員を満たすための方策を模索したい。

③ 特記事項

なし

(8)財務

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 (3) 2 1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	(4) 3 2 1
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4 (3) 2 1

① 課題

② 今後の改善方策

直近3年間の在籍人数は着実に増加しているため、継続して学生募集に注力して安定した財務基盤を整える

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 (3) 2 1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 (3) 2 1
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 (3) 2 1
4	自己評価結果を公開しているか	(4) 3 2 1

① 特記事項

なし

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 (3) 2 1
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 (3) 2 1
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	(4) 3 2 1

① 特記事項

地域の祭事でのボランティア活動を実施している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年間の事業計画の遂行や自己評価項目については概ね良好であるが、次年度に向けて、実務に関する知識・技術・技能などについて知見のある企業と連携体制を確保して、以下の項目を計画的に実施したい。

1. 実習、実技、実験又は演習の授業に卓越した技術を有する外部講師を起用する。
2. 教員に対し、実務に関する知識・技術・技能を修得・向上するための研修を実施する。
3. 教員に対し、授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修を実施する。

また、自己評価項目の問題点については、なるべく早い時期に改善を図るべく努力したい。